

## 「LC と LC/MS の知恵」 投稿規定

投稿論文は、LC 及び LC/MS に関する報文、ノート、技術論文及び速報とし、新しい知見を含み、且つ、速報を詳報として発表する場合を除き、ジャーナルに未発表のものに限る。但し、編集委員会が認めた場合には、投稿又は依頼による総合論文、依頼による解説、トピックス、提言、団体会員紹介、会員動向、新会員紹介を掲載出来るものとする。なお、編集委員会は、必要に応じて上記の範疇に属さない学術情報の掲載欄を設ける事が出来る。

1. 投稿論文の種目は、以下の通りとする（カッコ内は A4 サイズ 1 枚を 1 行 40 文字、36 行に設定した時の最大原稿枚数）。

報文	基礎又は応用に重点を置いた論文で、独創性・新規性が有り、且つ、価値ある事実或いは結論を含むもの（15 枚）。
ノート	内容が断片的であるが、新しい知見を報告するもの（8 枚）。
技術論文	技術に重点を置いた論文で、有用性を示す事実或いは結論を含むもの（10 枚）。
速報	特に速やかに発表すべき内容を含むもの。後に詳報を報告する事が出来る（6 枚）。
総合論文	或る主題に関する著者の究業績を、これまでに公表した数編以上の論文の内容を中心に取り纏めて体系化し、新たに執筆されたもの。最新の成果(未発表の成果を含む)を含む事が望ましい（20 枚）。

2. 投稿原稿には、所定の投稿カードを添付し、第 1 項に記載の種目等を明記する事。
3. 投稿論文（速報を除く）には、要旨（日本語 400 字程度で必須。英語 200 語程度は任意）を本文の前に配置し、要旨の下に 1 行空けてキーワード（英文要旨の場合は **Keywords**）を 3～5 個セミコロンで区切って記載する。

4. 投稿原稿は、日本語で書き、その形式は別に定める「投稿の手引き」に従う事。
5. 原稿は、本誌編集委員会宛にワード版で電子メール ([nakamura@jsac.or.jp](mailto:nakamura@jsac.or.jp)) への添付で送付する事とし、編集委員会到着の日を受付日とする。
6. 原稿の採否は、編集委員会が決定する。編集委員会は、字句その他の加除修正を行い、或いは著者にそれを要求する事が出来る。
7. 原稿の修正などのために、編集委員会から原稿を返却された場合は、1 か月以内に編集委員会に返送する事とし、これより遅れた場合は、新しい投稿として取り扱う事がある。
8. 本誌に掲載された論文等についての著作権は、公益社団法人日本分析化学会液体クロマトグラフィー研究懇談会に属する。

## 「LC と LC/MS の知恵」投稿の手引き

1. 日本語は MS 明朝、英数字は Century で入力し、フォントサイズ (FS) は原則として何れも 10.5 とする。
2. 表題 (強調文字、FS : 14)、氏名 (FS : 12)、所属 (FS : 10.5)、要旨 (FS : 10.5)、本文 (FS : 10.5) の順に配置する。
3. 図表には夫々通し番号を付け、本文中に配置する。
4. 本文中の引用文献には算用数字に丸カッコを付けて上付きとし、その全てを末尾に番号順に配置する。
5. 国際単位系 (SI) の単位を使用し、クロマトグラフィー、LC/MS 及び関連する分野の用語については JIS に準拠する。
6. 著者全員の顔写真 (カラー、横 10 文字、縦 7 行が標準) を表題の右横に配

置する。

7. 原稿末尾に、< 執筆者略歴 >を記載する。
8. その他については、「分析化学」誌の最新の「投稿の手引き」に準拠する。

#### 編集委員会

編集委員長	中村 洋	(東京理科大学)
編集委員	伊藤誠治	(東ソー株式会社)
	榎本幹司	(栗田工業株式会社)
	岡橋美貴子	(特定非営利活動法人病態解析研究所)
	竹澤正明	(株式会社東レリサーチセンター)
	三上博久	(株式会社島津総合サービス)